

保護者の意見

せめて2学年ぐらいでの担任制にしてローテーションの期間ももう少し長めに設定した方が先生も生徒も過ごしやすいのではないのでしょうか？ どの道、中学からは各教科担当の先生が別れるのに今から慣らす必要(特に低学年)があるのかなと正直感じてます。決行する前に保護者へのアンケートがあったら良かったのになと思いました。責任の所在があやふやになる感じ、あまり広めてほしくない話まで何人もの先生方に共有されてしまう点も不安です。初任の先生や講師の先生は戸惑われるのではとも感じてます。チーム担任制になってから何かメリットがあったのか保護者視点からだとわかりません。

チームの編成については、教科担任を行う上で2学年(2学級)ずつでは教科の割り振りがうまくできないので4学年(4学級)で編成しました。このことにより一人で4学年(4学級)の算数や社会を担当することができより専門的な指導ができるものと考えております。担任のローテーションの間隔については3年以上を例に挙げれば「4人が4学級の担任」という意識を子どもたちが持つには頻繁にすべての担任がすべての学年に入った方が効果的であると思います。先進校でも1週間を原則にローテーションしているのはそのためだと思います。「教科担任制」については文部科学省でも中学年から導入を推奨しており、合志市教育委員会の方針でもあり市内ほとんどの小学校で実施されています。初任者は現在本校にはおりませんが、初任者についてもいきなり一人に学級が任されて学級経営がうまくいかず精神疾患になったり最悪離職したりしてしまうという話をよく聞きます。このことは教育界の喫緊の課題です。チーム担任制であれば学級の課題にも複数で対応しながらゆっくり担任業務について学ぶことができます。本校のような単学級(1学年1学級)の学校では、一つの学級で問題が起きたときに他の担任がフォローできないという問題があります。チーム担任制はどの学級も「崩壊させない」一つの手立てと考えています。ただ、保護者視点でメリットが感じられないのはまだ自分たちの取組に課題があるものと思います。ご意見を真摯に受け止め子どもや保護者が安心されるように改善すべきところは改善します。

チーム担任制だからこそ、担当してくださる全部の先生とお話できる機会がほしいと思う。いつかそういう機会があるのか？ 家庭訪問はあったけれど、先生たちの思い、方針などを聞ける機会があってほしいと思う。やっぱり誰に相談したらよいかわからないので、相談しやすい機会を設定してほしい。さっぱりしている感じがする。先生たちの熱い思いを聞きたい。

チーム担任制について目的など十分な発信ができておらず申し訳ないと思っています。まずは、担任と保護者の皆さまの交流の機会を7月10日の授業参観時に場を設けます。ただ、それだけでは時間も足りないと思います。いつでも学校にお問い合わせいただければ個別に対応したいと思います。だれに問い合わせればいいかわからない場合は教頭までご連絡ください。

4月、特に何も困っていると言っていませんでした、と同時に学校での先生の話もとても減っていました。つい最近ですが、チーム担任制ってつかれるよね。と言って来ましたので理由を尋ねると、授業毎に先生によって言われる事がバラバラだけどクラスで動く時に担任も変わる事で毎回話が違っていたり先生の言われる事が同じじゃないから。。との事でした。授業はそれぞれでもクラスの取り決めも違いが多いのは訳わからなくなる。と戸惑いが大きくなっているようです。

ご指摘ありがとうございます。授業については、教科担任ですのでそれぞれの授業者の良さが活きるような授業を行っております。しかし、学級での決まり事などについては今回チーム担任制を始めるのにあたって誰が入っても決まりが違わないように朝の会から給食そして帰りの会まで統一したものを作成しております。しかしながら子どもが「クラスの取り決めも違いが多い」と捉えているのは、決まりについての説明が足りていないのかもしれないかもしくはそれぞれの担任の話し方のニュアンスで子どもの受け取り方が違う状況になっているなどの原因が考えられます。いずれにしても担任間でこれまでの指導の在り方を振り返り、今後の指導について検討します。

子供とよくチーム担任制の話になります。困った時、嫌な事があった、された、見かけた時に、誰に相談や報告をしたらいいかわからない。先生方には誰でも話しやすい先生でいいよと言われますが、「だれでもいい」、「なんでもいい」それが子供には難しいことをご理解ください。教科担任は子供にスッと入ったのか、毎日楽しみに時間割を見てワクワクしているのですが、それが担任複数いるとなるとなかなか難しいようです。低学年、高学年分かれていますが、そのチームにあわせて、これまでのやり方から全て変えるのではなく、徐々に変えていただくのもひとつかなと思います。

ご意見ありがとうございます。まずは教科担任制について子どもに受け入れてもらって有り難くおもいます。本校のような単学級の学校において学級の担任は固定したまま「教科担任制」のみ取り入れた場合、教科によって受け持ちの学級に授業を行う時間にばらつきが出てしまいます。例えば算数担当の教師が受け持つクラスには担任の授業は1日1時間のみもしくは一日授業が無いことも起きてしまいます。中学校ではあり得ることですが、小学校では「授業の中で集団を育てる」という観点からふさわしくありません。そのため、本校では「教科担任制」と「チーム担任制」はセットだと考えております。「だれに相談してもいい」って子どもにとっては困惑するって確かにそういうこともあると思います。まずはその週の担任の先生に言う、その次は主任の先生に言うなど具体的な指示も検討します。段階的な導入については、昨年度のアンケートの回答にもあるようにさまざまなパターンを想定し議論を重ねた結果、「児童の発達段階」と「限られた人員」等を踏まえ、「1・2年」「3・4・5・6年」という学年割りが現時点で考えられるよりベターな学年割りであるという結論に至りました。しかし、先述したとおり、今後も職員で検証をかさね「子どもたちのために」よりよい形を作っていきたいと思っております。

複数の先生方に関わっていただけることで、子ども自身もとても喜んで学校に通っています。例えば、親としては女性の先生が担任の方が安心な面もあるのですが、子どもが「男性の先生から格好いい走り方を教わった！」と嬉しそうに話してくれる姿を見て、多様な学びの機会を得られていると感じます。1年間、固定の担任の先生お一人として関われないという不安や心理的負担が和らぐため、親としても非常に安心感があります。親子ともにメリットしか思い浮かばないほど、この制度に感謝しております。

ご意見ありがとうございます。子どもがいろんな先生と関わることに喜びを感じてもらっているようで嬉しく思います。